世界遺産
紀伊山地の霊場と参詣道

霊峰 高野山

れいほう こうやさん

重要文化財

総本山 金剛峯寺

金剛峯寺本坊は、弘法大師像（秘仏）を祀る大広間や梅の間、柳の間など美麗な襖を擁する部屋があり、さらに別殿、奥殿などの別棟があります。奥殿の前には、雌雄一対の龍が対面する日本最大級の石庭「蟠龍庭」が控えます。

高野山の歴史や文化に触れる

大門

重要文化財

金剛力士像が迫力の高野山の総門

高野山霊宝館

壇上伽藍

壇上伽藍の中心にそびえる根本大塔と金堂

西塔

苑唐堂

重要文化財

奥之院

御廟橋

徳川家霊台

金剛三昧院

世界遺産
紀伊山地の霊場と参詣道

高野参詣道

―天空の聖地高野山を目指し、古より多くの人が歩んできた恒久の道―

標高800mの天空の聖地、高野山。古の時代より人々は祈りながら聖地高野山を目指しました。時代や用途に応じ繁栄し活用されてきた複数の道には、それぞれ異なる歴史、趣、物語があります。多様な信仰を育んだ霊場と参詣道、そしてそれらを取り巻く文化的景観の価値が認められ、和歌山・三重・奈良の三県にまたがる「紀伊山地の霊場と参詣道」は、2004年にユネスコの世界文化遺産に登録されました。また、高野山内で女性の参拝が叶わなかった時代から現在に至るまで、訪れる女性を心安らかに見守り、癒し続けた聖地として女人道、町石道、横尾道等が2020年に日本遊産「女性とともに今も息づく女人高野～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～」にも認定されました。

高野へ続く主な道と見どころをチェック!

丹生都比売神社（にうつひめじんじゃ）

今から1700年以上前に創建されたと伝えられる古社で丹生都比売大神を祀る全国180余社の総本社。神仏融合はじまりの社であり、世界文化遺産に登録されています。【かつらぎ町】

高野参詣道（こうやさんけいどう） 町石道（ちょういしみち）

高野山への道しるべとして1町（約109m）ごとに町石が建っています。九度山の慈尊院から高野山上に至る全長約23kmの道のりに、鎌倉時代に建て替えられた合計216本の町石が今でもほぼ完全な形で現存しています。かつては高野詣れの人々が町石のひとつひとつに手を合わせて礼拝しながら登りました。【九度山町・かつらぎ町・高野町】

慈尊院（じそんいん）

弘法大師（空海）が滞在する母に会うために訪れ、「女人高野」と呼ばれました。町石道はここに建つ180町石からスタートし、高野山への玄関口の役割を果たしました。【九度山町】

丹生官省符神社（にうかんしょうふじんじゃ）

弘法大師（空海）によって弘仁7年（816年）に創建された古社で、高野山町石道の登山口に鎮座しています。本殿は木造一間社春日造柿葺裏板彩色で世界遺産に登録されています。また、真田幸村奉献と伝えられる一文字太刀を所蔵しています。【九度山町】

二ツ鳥居（ふたつとりい）

弘法大師（空海）が当初は木材建立した鳥居で、1649年に現在の石造りになりました。鳥居のそばには120町石が立っていて、これより高野山までの町石道は祈りの聖道と言われ、高野山の修行者はここから丹生都比売神社に参拝しました。【かつらぎ町】

黒河道（くろこみち）

黒河道は、高野山へ至る七つの参詣道（高野七口）の1つです。また、文禄3年（1594）、豊臣秀吉の高野参詣の帰途に用いられたと文献に見え、主要な道の一つであったことがうかがえます。【橋本市】

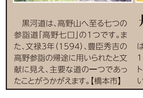
三谷坂（みたにざか）

現代にそげえるイチョウの大樹は、幹周5m、樹高25mもあり、11月中旬から12月中旬にはライトアップされ秋の風物詩となっています。【かつらぎ町】

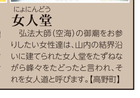
女人道（にょにんみち）

弘法大師（空海）の御廟をお参りしたい女性または、山内の結界公いに建てられた女人堂をたずねながら歩くのもたどったと言われ、それを女人道と呼びます。【高野町】

丹生酒殿神社（にうさかどのじんじゃ）



女人堂（にょにんどう）



広告掲載のお問い合せ・お申し込みは 英公社株式会社 790-0831 愛媛県松山市山田町1386-5 TEL.089-977-9333 FAX.089-977-9345 https://wowmap.jp ◆2026年7月1日調整 KI:2975 2026.07

◆この地図は英公社株式会社（街場所有）発行の最も新しい地図を調製したものです。いかなる形式においても、著作権者に無断で、この地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

◆この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図を使用したものである。